

令和7年度 主要事業評価シート

① 基本事項	計画コード	22001	事業名	都市マスタープラン等策定事業				評価分類	B1	
	事業手法	☐ 直営 ☒ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助等 ☐ その他()								
	施策体系	施策の大綱	01:快適さを支える生活基盤の向上			予算科目	会計	01:一般会計		
		基本施策	01:魅力的な都市空間の形成				款	08:土木費		
		施策の方向	01:計画的な土地利用の推進				項	04:都市計画費		
		重点プロジェクト	03:「しなやか田園都市」プロジェクト				目	01:都市計画総務費		
事業期間	R 5 年度 ~ R 8 年度		主な根拠法令等		都市計画法、亀山市都市マスタープラン、特措法					

② 事業概要 (P)	事業の必要性(経緯・背景等)	事業の対象(誰に、何に対して)	事業の目的(どのような状態にしたいのか)	事業の内容(どのような取組を行うのか)
	都市マスタープラン及び立地適正化計画が見直し時期を迎えるとともに、令和8年度には第3次総合計画がスタートすることが見込まれる。持続可能な都市づくりに向け、新たな課題等に対応した方針を定めていく必要がある。	全市	総合計画に掲げる基本構想を踏まえ、都市づくりの基本理念や土地利用及び都市施設の整備に関する基本方針を明らかにする。	本市の抱える都市形成上の課題等を調査・検討するとともに、第3次総合計画の策定と連携・調整を図りながら、都市づくりの方針決定を行い、亀山市都市マスタープラン及び立地適正化計画を策定する。

③ 事業の実施状況 (P・D)	年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
	事業計画				○都市防災リスク検討		○都市計画現況調査 ○都市誘導効果検証		○都市マスタープラン検討 ○立地適正化計画検討	
	活動実績 (計画通り実施できたか)				都市マスタープラン及び立地適正化計画の見直しに必要な防災リスクの基礎調査を実施し、災害のリスクが高い地区の抽出・課題整理及び取組方針案を作成した。		都市マスタープラン及び立地適正化計画の見直しに必要な都市計画の現況や都市誘導効果を把握するため、都市計画基礎調査及び立地適正化計画の評価・検証を実施した。		次期都市マスタープランの策定等に向け、計画策定等の基本的な考え方、検討体制及び検討スケジュールを取りまとめた。 また、都市の現況調査や現行計画の総括等を行うとともに、市民アンケート等の市民意向調査、庁内検討組織での調査検討及び亀山市都市計画審議会での意見聴取等を経て、次期都市マスタープランの課題と方向性を取りまとめた。	
	計画額	事業費			7,000千円	3,410千円	9,000千円	7,900千円	8,700千円	6,451千円
		国・県支出金				0千円		0千円	1,500千円	1,200千円
		地方債				0千円		0千円		0千円
		その他				0千円		0千円		0千円
		一般財源			7,000千円	3,410千円	9,000千円	7,900千円	7,200千円	5,251千円
	決算額	事業費			3,410千円		7,425千円		6,395千円	
		国・県支出金			0千円		0千円		950千円	
		地方債			0千円		0千円		0千円	
		その他			0千円		0千円		0千円	
一般財源				3,410千円		7,425千円		5,445千円		
①期間内計画額(R4-7)		24,700千円		②期間外計画額(R8-)		7,200千円		①+②総計画額		31,900千円

(令和7年度予算額の内訳)

前年度からの繰越額	0千円
当年度の最終予算額	6,451千円
次年度への繰越額	0千円

④ 指標 (C)	指標名	説明等	種別	単位	区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	各種調査等の進捗	計画策定に必要なとなる調査の実施状況	活動		計画値		防災リスク調査	誘導効果検証	
					実績値		防災リスク調査	誘導効果検証	
	計画策定の進捗	都市マスタープラン及び立地適正化計画の策定状況	活動		計画値				策定方針決定
					実績値				策定方針決定
					計画値				
					実績値				

⑤ 進捗度 合 (C)	判定	評価理由
	A	次期都市マスタープランの策定等に向け、計画策定等の基本的な考え方を取りまとめるとともに、現行計画の総括等を行った上で、市民の意向等を踏まえて次期都市マスタープランの課題と方向性を取りまとめるなど、計画に即した取り組みを進めることができたため。
	計画どおり進んでいる	

事業の対象	事業の目的
全市	総合計画に掲げる基本構想を踏まえ、都市づくりの基本理念や土地利用及び都市施設の整備に関する基本方針を明らかにする。

(再掲)

⑥ 課題 (C)	事業の進捗度合を踏まえた課題事項
	庁内検討組織での調査検討、亀山市都市計画審議会への意見聴取・諮問、ワークショップやパブリックコメント手続等における市民意見等を適切に計画に反映し、第3次亀山市総合計画基本構想における「都市空間形成と土地利用の方針」の具現化に向けた都市づくりの方針を決定するなど、次期都市マスタープランの策定等に向け、的確に事業進捗を図る必要がある。

⑦ 事業の 展開 (A)	方向性	
	継続(現状維持)	現状どおり事業を継続する
	改善・見直し内容	
	令和8年度で対応する(した)もの	令和9年度以降で対応するもの
	庁内検討組織での調査検討、亀山市都市計画審議会への意見聴取・諮問、ワークショップやパブリックコメント手続等を実施し、適切に計画に反映する。	

(履歴)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
進捗度合		A	A	A
事業展開		継続(現状維持)	継続(現状維持)	継続(現状維持)

1次評価者	建設部 都市整備課 都市計画GL 加藤 洋輔
最終評価者	建設部 都市整備課長 山際 文則